



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡部 秀敏

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 (氏名) 花房 伸晃

TEL 075-352-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,575	△3.0	△1,463	—	△1,548	—	△1,168	—
25年3月期第2四半期	23,276	4.4	△314	—	△225	—	△184	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △769百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △274百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△117.95	—
25年3月期第2四半期	△18.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	25,437	—	14,426	—	56.4	—
25年3月期	26,348	—	15,344	—	58.0	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 14,352百万円 25年3月期 15,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,600	△3.4	△1,300	—	△1,500	—	△1,900	—	△191.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	9,909,400 株	25年3月期	9,909,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	326 株	25年3月期	326 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,909,074 株	25年3月期2Q	9,909,077 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成25年11月7日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、リゾート婚の本質的な魅力を訴求するべく、リゾート婚の新たなスタイル提案やハワイ州観光局ロマンス親善大使である吉川ひなのさんと共同でウェディングプランをプロデュースするなどのプロモーション強化に取り組んでまいりました。また平成25年8月には、南青山サロンを新規オープンし、新宿店、福岡店をリニューアルオープンするなど、首都圏を中心に店舗網の再編を行ってまいりました。成長戦略であるアジアマーケットにおきましては、リゾート挙式の取扱組数が前年同四半期に比べて減少したものの、現地におけるローカル挙式の取扱組数及び婚礼単価は増加いたしました。しかしながらリゾート挙式全体におきましては、市場の競争激化による挙式取扱組数の減少と円安の進行による為替の影響を大きく受ける結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園では創業85周年記念プランの販売や、女性プロガーコミュニティ「AmebaGG」とコラボレーションし新作ウェディングドレスの発表を行うなど、さらなる顧客の拡大に注力してまいりました。またメルパークでは、宿泊及び宴会の営業強化や地域オリジナル商品を販売し、地域に根ざしたホテルづくりを推進してまいりました。その結果、挙式取扱組数は前年同四半期に比べて増加いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、全体の挙式取扱組数が減少し、売上高22,575百万円（前年同四半期比3.0%減）、円安の影響により売上原価及び販売管理費が増加した結果、営業損失1,463百万円（前年同四半期営業損失314百万円）、経常損失1,548百万円（同 経常損失225百万円）、四半期純損失1,168百万円（同 四半期純損失184百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は9,142百万円（前年同四半期比5.4%減）、広告宣伝費の増加と円安の影響を受けた結果、セグメント損失は1,130百万円（前年同四半期セグメント利益332百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は増加したものの婚礼単価が減少し、売上高は13,433百万円（前年同四半期比1.3%減）となりましたが、固定費削減に努めた結果、セグメント損失は326百万円（前年同四半期セグメント損失651百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、10,699百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ445百万円減少し、14,738百万円となりました。これは主に差入保証金が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ910百万円減少し、25,437百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ591百万円減少し、8,033百万円となりました。これは主に買掛金と未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ599百万円増加し、2,978百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、11,011百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ918百万円減少し、14,426百万円となりました。これは四半期純損失1,168百万円や配当金148百万円の支払による利益剰余金の減少1,317百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、市場の競争激化による挙式取扱組数の減少と、為替の影響等による売上原価および販売管理費の増加、また、店舗再編のための一時的損失の発生等により、当初予想を大幅に下回る見通しであることから通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407	5,298
売掛金	1,941	1,799
商品及び製品	197	253
仕掛品	38	26
原材料及び貯蔵品	541	620
その他	2,068	2,728
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	11,164	10,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,178	5,140
土地	2,607	2,537
その他（純額）	1,563	1,535
有形固定資産合計	9,348	9,213
無形固定資産		
投資その他の資産	781	831
差入保証金	3,275	2,977
その他	1,807	1,745
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	5,053	4,693
固定資産合計	15,183	14,738
資産合計	26,348	25,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,009	1,709
短期借入金	900	1,350
未払法人税等	202	—
前受金	2,012	2,546
賞与引当金	446	351
その他	3,053	2,075
流動負債合計	8,625	8,033
固定負債		
長期借入金	700	1,200
退職給付引当金	595	674
資産除去債務	573	605
その他	509	498
固定負債合計	2,378	2,978
負債合計	11,004	11,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	8,147	6,830
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,361	15,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	35
繰延ヘッジ損益	△1	2
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	△227	172
その他の包括利益累計額合計	△1,092	△691
少数株主持分	75	73
純資産合計	15,344	14,426
負債純資産合計	26,348	25,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	23,276	22,575
売上原価	7,611	7,892
売上総利益	15,664	14,683
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	5,412	5,215
賞与引当金繰入額	265	279
退職給付費用	124	99
賃借料	3,312	3,164
その他	6,864	7,388
販売費及び一般管理費合計	15,978	16,146
営業損失(△)	△314	△1,463
営業外収益		
受取賃貸料	28	29
受取補償金	32	—
受取手数料	40	—
その他	52	39
営業外収益合計	154	69
営業外費用		
支払利息	9	7
開業費	—	90
支払手数料	20	20
その他	35	36
営業外費用合計	66	154
経常損失(△)	△225	△1,548
特別損失		
固定資産除売却損	—	39
施設店舗整理損	59	46
特別損失合計	59	85
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△1,633
法人税等	△90	△456
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△194	△1,177
少数株主損失(△)	△9	△8
四半期純損失(△)	△184	△1,168

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△194	△1,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△3
繰延ヘッジ損益	△37	3
為替換算調整勘定	△34	405
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△79	407
四半期包括利益	△274	△769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△263	△767
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△1,633
減価償却費	902	875
施設店舗整理損	59	46
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△98
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	9	7
為替差損益(△は益)	1	11
売上債権の増減額(△は増加)	59	157
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	△324	△309
未払金の増減額(△は減少)	△167	△957
前受金の増減額(△は減少)	546	527
その他	△363	△135
小計	286	△1,588
利息及び配当金の受取額	11	14
利息の支払額	△9	△7
法人税等の支払額	△269	△200
法人税等の還付額	—	157
営業活動によるキャッシュ・フロー	19	△1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△412	△688
有形固定資産の売却による収入	8	97
無形固定資産の取得による支出	△57	△200
差入保証金の差入による支出	△18	△43
差入保証金の回収による収入	27	349
その他	34	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	700
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△250	△250
少数株主からの払込みによる収入	30	—
配当金の支払額	△148	△148
その他	△25	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393	770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△816	△1,109
現金及び現金同等物の期首残高	6,332	6,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,516	5,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,663	13,612	23,276	—	23,276
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,891	95	2,987	(2,987)	—
計	12,555	13,707	26,263	(2,987)	23,276
セグメント利益又は損失(△)	332	△651	△318	4	△314

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円には、セグメント間取引消去13百万円、棚卸資産等の調整額△8百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,142	13,433	22,575	—	22,575
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,880	72	2,953	(2,953)	—
計	12,023	13,505	25,529	(2,953)	22,575
セグメント損失(△)	△1,130	△326	△1,457	(5)	△1,463

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去17百万円、棚卸資産等の調整額△23百万円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。